

病虫害発生予察 3月月報

(生育概況及び病虫害の調査結果)

令和4年3月の気象表(長野地方気象台)

官 署	平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
長 野	本年	2.4	7.0	7.3	2.5	35.5	7.0	73.9	64.4	51.4
	平年	2.9	4.3	5.6	19.0	16.0	25.1	52.7	59.0	61.5
松 本	本年	3.1	8.5	7.5	0.0	42.5	17.5	82.3	66.3	60.1
	平年	3.1	4.6	5.9	28.0	18.3	31.8	58.5	65.1	67.3
諏 訪	本年	2.3	7.5	6.6	0.5	36.0	20.0	87.9	67.7	63.1
	平年	2.6	3.9	5.3	29.7	23.2	36.1	61.4	67.7	69.8
軽井沢	本年	-0.2	4.6	3.3	0.0	30.5	15.0	89.0	71.3	69.7
	平年	-0.3	1.1	2.4	21.5	16.5	30.3	58.3	67.1	69.4
飯 田	本年	4.1	9.7	9.3	5.0	50.5	60.0	79.5	70.8	60.5
	平年	4.7	5.9	7.4	43.9	40.6	54.7	57.6	64.0	66.9

○3月の気象概況(令和4年4月4日発表)

天気は数日の周期で変わったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、降水量は少なく、日照時間は多くなった。

大陸からの寒気の影響を受けにくく、南から暖かい空気が流れ込んだ日もあったため、中旬や下旬後半を中心に気温が平年を大きく上回る日が多く、月平均気温は高くなった。

1 麦

(1) 生育概況

播種期は好天が続き出芽状況は良好であった。播種後、平年より高温多照傾向が続き、越冬前の生育は草丈、茎数、葉数ともに前進した。

年明け以降、気温が平年よりも低く推移し、降雪が多く、1～2月にかけて断続的に根雪状態となったが、3月1日時点での生育は草丈、茎数、葉数ともに平年より前進傾向であった。

農業試験場調査によると、3月15日時点の生育は、大麦(ファイバースノウ)、小麦(シラネコムギ)ともに草丈は平年並、茎数は多く、葉数は1葉以上進んでいた。幼穂形成期は平年より大麦で7日、小麦で6日早かったが、莖立期は平年より大麦で4日、小麦で5日遅かった。

第1表 麦の生育状況

須坂市(農業試験場作物部)

品種名	区分	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	幼穂 形成期	莖立期
ファイバースノウ (大麦)	平年	874	14.5	7.1	3/3	3/28
	前年	1055	19.1	8.3	2/19	3/19
	本年	1203 (138%)	14.6 (101%)	8.2 (+1.1)	2/24 (-7)	4/1 (+4)
シラネコムギ (小麦)	平年	1030	17.3	7.1	3/17	3/27
	前年	1027	23.9	8.1	2/25	3/19
	本年	1248 (121%)	16.9 (98%)	8.7 (+1.6)	3/11 (-6)	4/1 (+5)

<耕種概要>播種期：大麦 令和3年10月20日、小麦 令和3年10月21日

(注) 平年値は過去7ヵ年における最大値と最小値を除いた5ヵ年の平均値。

本年の茎数、草丈、葉数は3月15日調査、()内は平年比または平年差。

(2) 病虫害の発生状況

①小麦の土壤伝染性ウイルス病(コムギ縞萎縮病・麦類萎縮病)

生産現場では、耐病性品種への変更や大麦への転換等が行われているため、発生は目立たなくなっているが、罹病性品種作付けほ場の一部で発生がみられている。

2 りんご

(1) 生育概況

ふじの発芽は、平年と比べて1日遅かった。展葉は平年と比べて2日早かった。

第1表 りんごの生育状況 須坂市(果樹試験場) 4月15日現在

品種名	区分	発芽	展葉	開花	満開	落花
ふじ	平年	3/30	4/12	4/28	5/2	5/7
	前年	3/23	4/2	4/17	4/24	5/2
	本年	3/31	4/10			

平年は、1991年から2020年までの平均値。

(2) 病虫害の発生状況

①うどんこ病

第一次伝染源である“ぼけ芽”(罹病枝率)はみられなかった。

第2表 うどんこ病の平均罹病枝率 (%)

地域	調査 ほ場数	本年 2022年	2021年	2020年	2019年
東信	5	0	0.3	0.5	0.1
南信	5	0	0	0	0
中信	6	0	0	0	0.2
北信	16	0	0.2	0.1	1.6

本年調査日：令和4年2月28日～3月4日

②リンゴハダニ

リンゴハダニの越冬卵は、南信、中信、北信の計7ほ場でみられ、中信地域では平年と比べて発生が多かった。

第3表 リンゴハダニの1短果枝あたりの越冬卵数 (個)

地域	調査 ほ場数	発生 ほ場数	本年 2022年	平年	2021年	2020年	2019年
東信	5	0	0	1.3	0	0	0.2
南信	5	3	1.0	2.6	4.0	3.4	3.4
中信	6	3	3.0	0	0	0	0.1
北信	16	1	0.4	0.4	0	0	0

平年は、2012年から2021年までの平均値。

越冬卵数の計算方法は、以下の基準及び計算方法より算出。

- 越冬卵数程度別基準
無：0個、少：1～25個、中：26～50個、多：51～75個、甚：76個以上
- 1短果枝あたりの越冬卵数
 $13 \text{ (少の短果枝数)} + 38 \text{ (中の短果枝数)} + 63 \text{ (多の短果枝数)} + 88 \text{ (甚の短果枝数)}$
調査短果枝数

3 なし

(1)生育概況

発芽は、平年並～4日遅かった。鱗片脱落は、平年と比べて1～6日早かった、または1日遅かった。展葉は、平年と比べて3～5日早かった。開花始は、平年と比べて4～5日早かった。

第1表 なしの生育状況 高森町（南信農業試験場） 4月15日現在

品種名	区分	発芽期	鱗片 脱落期	展葉期	開花期			落花期
					始	盛	終	
二十世紀	平年	4/1	4/9	4/14	4/18	4/20	4/26	4/29
	前年	3/22	3/30	4/4	4/6	4/8	4/15	4/18
	本年	4/1	4/8	4/11	4/13	4/14		

幸水	平年	4/3	4/9	4/17	4/20	4/23	4/28	5/1
	前年	3/25	3/30	4/9	4/10	4/12	4/17	4/21
	本年	4/7	4/10	4/13	4/15			
豊水	平年	3/31	4/12	4/12	4/17	4/20	4/25	4/28
	前年	3/21	3/29	4/3	4/5	4/7	4/14	4/18
	本年	3/31	4/6	4/10	4/13	4/14		

平年は、2001年から2020年までの平均値。

(2)病害虫の発生状況

①黒星病

ナシ黒星病菌子のう胞子の飛散は、確認されていない。

第2表 ナシ黒星病菌子のう胞子飛散消長 (個)

区分	高森町（南信農業試験場） 4月11日現在					
	4月					
	1半月	2半月	3半月	4半月	5半月	6半月
平年	11	181	430	1,635	5,307	2,341
前年	0	0	47	10	0	96
本年	0	0				

平年は、2012年から2021年までの平均値。

②ハダニ類

ハダニ類の越冬卵は、南信の1か所で平年と比べて多くみられたが、他は平年並以下であった。

第3表 ハダニ類の1短果枝あたりの越冬卵数(個)

区分	二十世紀				幸水				
	飯島町	中川村	飯田市	松川町	高森町	豊丘村	下條村	松川町	塩尻市
平年	0.5	0.4	2.0	0.8	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
前年	0	0	0.4	0	3.4	0	0	0	0
本年	1.3	0	0	0.4	0	0	0	0	0

平年は、2010年から2018年までの平均値。

越冬卵数の算出方法は「りんご」（リンゴハダニ）を参照。

4 もも

(1)生育概況

白鳳と川中島白桃の発芽は、平年と比べて1～5日遅かった。

白鳳の展葉は、平年と比べて7日早く、開花は平年と比べて3日早かった。

秀峰(初刈)の発芽は、平年並であった。また、開花は平年と比べて3日早く、展葉は平年と比べて5日早かった。

第1表 ももの生育状況 須坂市(果樹試験場) 4月15日現在

品種名	区分	発芽	展葉	開花	満開	落花
白鳳	平年	3/30	4/21	4/18	4/24	5/2
	前年	3/24	4/13	4/8	4/15	4/22
	本年	3/31	4/14	4/15		
川中島白桃	平年	3/30	4/21	4/18	4/24	5/3
	前年	3/22	4/15	4/5	4/17	4/30
	本年	4/4				
(初刈)秀峰	平年	3/28	4/19	4/16	4/21	4/30
	前年	3/24	4/5	4/3	4/13	4/19
	本年	3/28	4/14	4/13		

平年は、1991年から2020年までの平均値。
「秀峰」は2008年から、「白鳳」は2009年から、「川中島白桃」は2019年から調査樹更新。

5 野菜

(1) 病害虫の発生状況

① アブラナ科野菜のコナガ

フェロモントラップ調査では、塩尻市(野菜花き試験場)、小諸市(野菜花き試験場佐久支場)ともに、3月第5半旬に初誘殺された。

平年と比べて、塩尻市(野菜花き試験場)で3半旬、小諸市(野菜花き試験場佐久支場)で2半旬遅かった。

朝日村(地区発生予察ほ)は、3月中の誘殺はみられなかった。

第1表 フェロモントラップによるコナガ成虫誘殺消長(頭)

設置場所	品目	区分	3月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・はくさい	本年	0	0	0	0	1	0
		平年	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	1.8
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	キャベツ・はくさい	本年	—	0	0	0	2	0
		平年	0.0	0.0	1.0	1.0	0.7	0.7
朝日村古見 (地区発生予察ほ)	はくさい	本年	0	0	0	0	0	0
		平年	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0

平年は、2012年から2021年までの平均値。

小諸市山浦における本年の調査開始時期は3月第2半旬である。

② レタスのナモグリバエ

小諸市(野菜花き試験場佐久支場)における黄色粘着トラップ調査では、3月第6半旬に初誘殺された。(前年は3月中の誘殺はみられなかった。)

③ たまねぎの病害虫

3月下旬の巡回調査で、中信地域の調査ほ場において、べと病の発生がみられたが、前年に比べると少ない。

④ その他のフェロモントラップ誘殺状況

塩尻市(野菜花き試験場)及び小諸市(野菜花き試験場佐久支場)における調査では、前年及び平年と同様にオオタバコガの誘殺はみられなかった。

タマナギンウワバは、小諸市(野菜花き試験場佐久支場)で前年と同様に3月第6半旬に初誘殺が確認されたが、塩尻市(野菜花き試験場)では3月中の誘殺はみられなかった。